

【開館日】

水～土曜日 13時 ～ 21時
日曜日 9時 ～ 17時
月曜日 13時 ～ 17時

【休館日】

毎週**火曜日**、「国民の祝日」及び
「**年末年始**（12月29日～1月3日まで）」



利用方法

障害者（個人・団体）は使用料無料です。それ以外の方もご利用いただけます。



※HPとは四日市市障害者体育センターのホームページのことです

当センターで
できるスポーツ

卓球・卓球バレー・バレーボール・バスケットボール
テニス・バドミントン・ボッチャ・フットサル
アーチェリー・スポーツ吹矢・フライングディスク・体操

アクセス

電車でお越しの場合

四日市あすなろう鉄道
「西日野駅」下車 約0.5km

バスでお越しの場合

三重交通バス
「笹川中学校前」下車 約0.3km

※駐車場（約30台）あり
自動車でもお越しいただけます



お問い合わせ先

〒510-0943 四日市市西日野町4070番地1
・TEL&FAX 059-322-1784
・ホームページ 右のQRコードをスマホ等で
読み込むとアクセスできます！
・メールアドレス stc26@m2.cty-net.ne.jp



<https://www.stc-yokkaichi.com/>

センターの活動、障害者スポーツ・イベント情報などお届けします！

体育センター通信

3月号
No.22



今月の特集は

・就労継続支援B型事業所
more LIFE(もあらいふ)です。



こんにちは。四日市市障害者体育センターです。まだまだ寒い日が続きますが、少しずつ春めいてきている今日この頃、皆様お変わりありませんか。

今回の体育センター通信は、就労継続支援B型事業所 more LIFE(もあらいふ)様を特集させていただきます。事業所名にあるmoreには、利用者様の未来がより良いものになるように、という意味が込められているそうです。どうぞよろしくお願いいたします。

No.20

就労継続支援B型事業所 more LIFE(もあ らいふ)

●団体・施設紹介



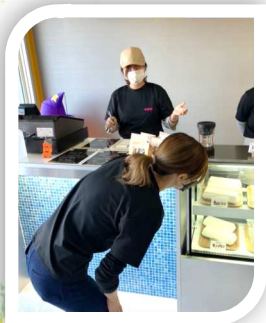
太陽が良く当たる、
広々とした畑です。



2022年10月、就労継続支援B型事業所 more LIFE (もあらいふ)を開業。経緯としては、医療(総合病院や精神病院など)・福祉(障害者支援施設や特別養護老人ホームなど)に携わり、重度高齢化の個別支援に努めてきました。

そこに至るまでの大切な暮らしの途中経過で、何らかのきっかけとなる個別支援はできないのか?その些細なきっかけから、よりその人らしい暮らしへと繋げることはできないだろうか?という思いが始まりました。

今はまず、more LIFE (もあらいふ)に行ったら何かが始まる(変わる)と利用者様に感じて頂けるように、職員一同、日進月歩だと思っております。



●団体・施設の詳しい活動内容

自社にて、MOREsand (もあさんど) コップンサント/テイクアウト専門店を運営。人と関わるのが好き・それを目指したい人向けの就労場所に。

野菜農園を営む企業と委託契約を結び、野菜農園での作業や収穫野菜の出荷作業などを展開。人と関わるのが苦手・広い環境(自然)や黙々とした作業を得意とする人向けの就労場所に。

他、聖母の家学園や西日野にじ学園の実習生受け入れをしております。

事業所のモットーとして、『「どうせ、できない」と諦めていることはないですか?わからないことを一緒に考え、「できる」を見つけるサポートを目指します!その中で、もっと活躍できる自分を見つけませんか。』を基本として考え、その人の個性と希望から、一緒に考える個別支援を大切にしています。



●最近のトピック

MOREsand (もあさんど)は、イベントやレクリエーション活動からの大量注文を頂いたり、店頭販売以外に訪問販売も展開して就労の幅を拡大しております。

現在は、四日市市総合会館(B1階)にて訪問販売(11:30~13:00/週1回程度)をしております。

イベントなどの大量注文や企業様および学校関係者様などへの訪問販売も計画しております。ご希望などございましたら、お気軽にご連絡ください。



利用者様の希望等に応じて、接客や農園作業等に分かれているそうです。



株式会社 MORE(もあ)
就労継続支援B型事業所more LIFE(もあ らいふ)
三重県四日市市西日野町5033-1
TEL 059-327-6444
FAX 059-327-6445



編集後記



今回は、more LIFE (もあ らいふ)様という、美味しいパン屋さんを経営する事業所を特集させて頂きました。明るく、綺麗なお店が印象的で、お店のスタッフの方々の笑顔も素敵でした。

また、令和5年3月いっばいでこの体育センター通信の編集等でお世話になった、スタッフの長谷川が当館を退職されます。新天地でもご活躍されることを祈念して、謝辞に代えたいと思います。ありがとうございました。(高橋)

体育館での二年間、様々な出会いや経験を得ることができました。来期からは大学生として新たなスタートを切ることとなりますが、この体育館での貴重な経験を学びの場にも生かしていきたいと思っています。二年間お世話になりました。(長谷川)